

令和 6年度予算見積調書

課室名：感染症対策課
 担当名：感染症・新型インフルエンザ対策
 内線：7330 (単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
S42	感染症専門人材育成事業		一般会計	衛生費	公衆衛生費	予防費	感染症予防費		
事業期間	令和4年度～ 令和7年度	根拠法令	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律		針路	01 災害・危機に強い埼玉の構築	SDGsゴール	3	
					分野施策	0104 感染症対策の強化	SDGsターゲット	3-3	
1 事業概要			5 事業説明						
<p>新型コロナウイルス感染症のパンデミックを受け、多くの医療機関等においてクラスターが発生した。医療機関等におけるリーダーとなる感染症専門人材の不足があり、効果的な感染症対策がとれなかったことが発生の原因の一つと考えられる。</p> <p>このため、感染症が発生した時の初期段階の対応や専門家の助言内容の実践ができる人材を育成し、施設での感染拡大を未然に防止する。</p>			<p>(1) 事業内容 感染症専門研修の実施 17,707千円 県内の病院や有床診療所に勤務する医療従事者等を対象に、各施設において感染症対策に従事できる人材を育成する。</p> <p>(2) 事業計画 ①座学(VOD※)：感染症や感染管理に係る理論、施設での感染管理についてなど ※VOD = ビデオ・オン・デマンドの限定公開 ②演習：集合型で実施 ③実習：実際の臨床現場で実施 (受講者数) 令和4年度：114人(修了者数)(病院) 令和5年度：180人(病院・有床診療所) 令和6年度：180人(病院・有床診療所) 令和7年度：68人(病院・有床診療所) 計542人</p> <p>(3) 事業効果 研修修了者を中心に、地域の認定看護師など専門家とのネットワークを構築し、情報交換等ができる体制を整える。</p> <p>また、平時だけでなく将来の未知の感染症発生時においても、院内における感染症への対策を講じることができ、その発生を抑制することが可能となる。</p> <p>【活動指標(アウトプット)】県が実施した感染症専門研修で修了生を排出する(4年間で542人) 【成果指標(アウトカム)】県民が利用する医療機関におけるクラスターの発生や規模が抑えられる。 全ての医療機関に感染症に知見のある職員が配置され、各機関での感染拡大を起こさない。</p>						
2 事業主体及び負担区分 (国1/2(予算の範囲内)・県1/2)									
3 地方財政措置の状況 普通交付税 (款)衛生費 (細目)感染症等対策費 (細節)感染症等対策費									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.6人=15,200千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
		国庫支出金	繰入金						
決定額	17,707	1,924					15,783	△2,501	
前年額	20,208	18,279	1,929				0		

事業内訳書

事業名	感染症専門人材育成事業		
単位事業名	感染症専門研修の実施	予算額	17,707千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 公衆衛生費補助金	1,924	△16,355	感染症予防費補助金 補助率 1/2(国予算の範囲内)
繰入金・ <small>新型コロナウイルス感染症対策推進基金繰入金</small>	0	△1,929	
一般財源	15,783	15,783	
合計	17,707	△2,501	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	6,566	362	座学・演習講師謝金、演習ファシリテーター謝金 実習病院謝金
旅費	24	△8	実習先との連絡調整、演習の実施
需用費	99	0	消耗品
委託料	10,418	△2,095	研修動画サイト運営等、実習統括委託等

単位事業名	感染症専門研修の実施	予算額	17,707千円
-------	------------	-----	----------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
使用料及び賃借料	600	△760	演習会場使用料
合計	17,707	△2,501	